

がん検診のメリット

★救命の効果がある

早期発見、早期治療により、命を救うことができます。

★早期のがんを発見できる

一般的に、早期発見ほど病気が治りやすく、発見が遅れるほど治療が困難になります。

★がん以外の病気を発見し、治療に結びつけられる

がん検診では早期がんだけでなく、**がんになる前段階の病変が見つかることもあります。**
病変が軽い場合は経過を観察し、必要に応じて治療することで、がんになることを防ぐことができます。

★安心して生活できる

がん検診を受診し「異常なし」と判定されれば、ひとまず安心して過ごすことができます。



たくさんのメリットがあるびよん★

がん検診のデメリット

★判定・診断の結果が100%正しいとは限らない

がん検診の技術は目ざましく進歩していますが、がんの場所や種類によっては見つけにくく、発見できない場合があります。そのため「異常なし」という判定は「あなたの身体にがんはありません」という断定ではありません。



放射線被ばくによる健康影響について

マンモグラフィの放射線には被ばくの問題があります。しかし、1回の撮影で乳房が受ける放射線量は、一般の人が1年間に受ける放射線量よりはるかに低く、ほとんど健康被害はありません。

★結果的に不必要な治療や検査を受けてしまう場合がある

〈過剰診断〉がんの中には、進行がんにならず、生命に影響しないものも存在します。検診では、普通のがんと区別できないため、早期治療では手術などの治療が行われてしまう場合があります。

〈偽陽性〉がん検診で「がんの疑い」と診断され、精密検査を受けた結果「がんではなかった」と判定されることが多くあります。結果的には、不必要な検査が行われ、受診者には心理的な負担が掛かってしまいます。

どちらも、精密検査を受けて初めて分かるものなので、ある程度は避けられません。



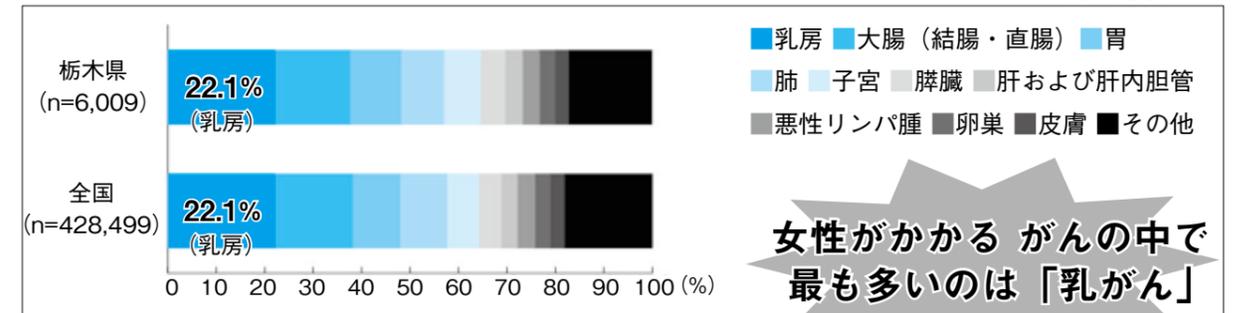
女性がん検診にはいくつかデメリットはありますが、メリットが多くあることが証明されています。定期的に検診を受け、命を守りましょう！

コロナ禍でも、女性がん検診を受診しましょう

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、女性がん検診の受診者が減少しています。健康と安心のために、がん検診を受診しましょう。

女性がん部位別罹患割合（上皮内除く）

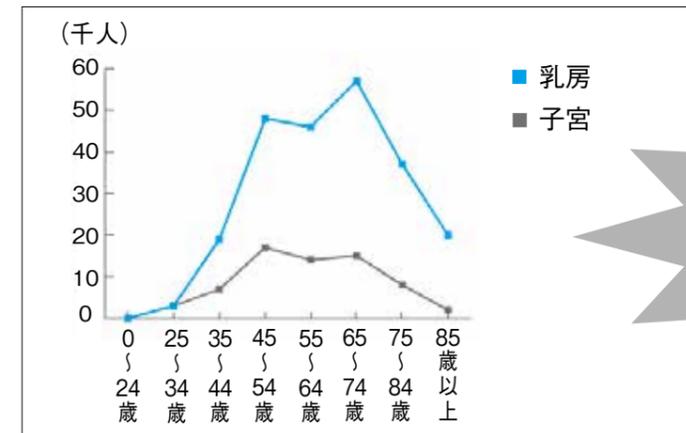
n：調査対象者数



女性がかかるがんの中で最も多いのは「乳がん」

出典：栃木県のがん 2016【概要版】

女性の年齢階級別がん総患者数



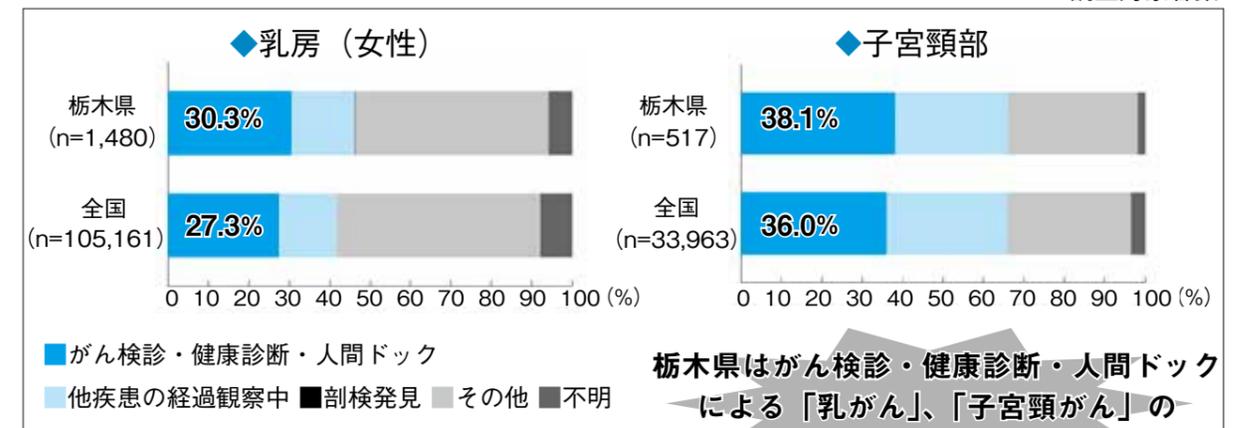
30代後半から乳がん患者が急増



出典：厚生労働省「平成29年患者調査」

部位別がん発見経緯（上皮内がん含む）

n：調査対象者数



栃木県はがん検診・健康診断・人間ドックによる「乳がん」、「子宮頸がん」の発見割合が全国よりも高い！

出典：栃木県のがん 2016【概要版】